

キラリ通信



令和4年5月11日発行
立川市立第七小学校
拠点校七小キラリ教室

風薫る5月、1年のうちでもっとも過ごしやすい季節になりました。日頃よりキラリの教育活動にご理解・ご協力いただきまして、ありがとうございます。

新しい環境にも少しずつ慣れ、進級して張り切っている姿に、子どもたちの成長を感じます。

4月11日（月）には合同保護者会が行われました。たくさんのご参加、ありがとうございました。

5月には在籍学級の担任との面談を行います。子どもたちの学級での様子を聞きながら、学級とキラリで足並みを揃え、よりよい指導ができるようにしていきます。今後とも、よろしくお願いいたします。

【キラリ 学習紹介 ～気持ちの切り替え～】

点数や勝敗へのこだわり・・・

勝ちや100点にこだわり、負けたり100点が取れなかったりすると、泣いたり、かんしゃくを起こしてしまう子がいます。そのため、勝敗の分かれる活動が行いにくくなる場合があります。

考えられる背景

- ・ 予測した結果以外を受け入れられない
- ・ 頑張れば絶対に勝てるという思い込みがある
- ・ こだわりが強く、100点が取れないことを受け入れられない
- ・ 過去に負けて、嫌な経験をした

など

その場での対応例

【バツをつけない】

バツを嫌がるなら、バツをつけずにすませる。マルだけつけて、間違えたところは何もつけなくて、あとで直したらマルをつける。

【子どもの思いをまず受け止める】

「残念だったね」「くやしかったね」などと、子どもの思いを受け止めたうえで、ルールだから結果は受け入れなければならないことを教える。



事前の確認

【不本意な結果を受け入れさせる練習 → がまんできたときはおいにほめる】

あくまでも、その子には現実を受け入れさせなければなりません。そのときに、自分の思い通りにならなくても我慢する、ということ自身に言い聞かせるための合言葉などをつくっておき、それを思い出させることが有効です。

キラリでも、「まーいっか」や「しかたない」という合言葉をつかって練習をしたり、気持ちのコントロールが難しいときに、別室でクールダウンする方法を一緒に確認したりしています。